

和水町政治倫理調査会の結果報告

和水町政治倫理調査会々長 杉本 和彰

7月28日付けにて議会議員の政治倫理に関する条例の規定に基づき、議会議長に福原秀治氏より調査請求書が提出されました。

調査会では、8月13日、8月27日、9月5日、9月22日、10月3日の5回にわたり慎重に審議しましたので、調査結果を報告します。

記

○疑義があると認められる者の氏名 福山精一議員

○調査請求の内容 「条例第2条に該当の疑い」

※一部町民に対して盆用品（線香・ろうそくセット）を仏前の往訪することなく送付贈呈した疑義。

和水町議会議員政治倫理条例

第2条 議員は、町民の信頼に値する倫理性を自覚するとともに、町民に対し、自ら進んでその高潔性を実証するよう努めなければならない。

2 議員は、常に町民全体の利益を擁護し、いやしくも特定の個人、団体の利益を求めて、公共の利益を損なうようなことがあってはならない。

3 議員は、刑法上の贈収賄罪に該当するか否かを問わず、その職務の公正を疑わせるような金品の授受等の行為をしてはならない。

○疑義を証する資料

テレビ報道

○調査結果

抵触に値する。

その根拠は、盆用品送付贈呈の件数（町内17件・町外2件）、金額（36、181円）を本人聴取及び領収書にて認められたことによる。

※送付した盆用品は、福山精一議員が自ら回収した。

【お詫び】

議会議員 福山 精一

私個人の行動に如き印象をあたえたのは、私の不徳のいたすところであります。議会議員の品位を保持し秩序を守るべき議員の職責を顧みて誠に申しわけありません。ここに誠意を披瀝して町民の皆様から深くお詫び申し上げますとともに反省しております。

今後はこのことを教訓として、自分自身の見識と経験に基づいてより行動に責任と自覚を持って職務に精励いたしてまいります。

※本会議において陳謝いたし、議員報酬の月額30%、3ヶ月（8月・9月・10月）分減額となりました。

※送付しました贈答品は自らすべて回収致しました。

町民の皆様へ

お歳暮や年賀状はだせません！

和水町議会議員は、法律や政治倫理の申し合わせに従い『お歳暮』や『年賀状』をだせないことになっています。町民の皆様には、なにとぞご賢察とご理解のほどをお願い申し上げます。

和水町議会議員一同

議 会運営委員会所管事務調査

研修報告

委員長 多賀 勝丸

議会運営委員会は8月18日、19日の日程で、議会運営委員会の運営状況や議会活性化に向けた取組、町の概要等について運営委員6名副議長、事務局長の8名で長崎県東彼杵郡東彼杵町と佐賀県西松浦郡有田町の二町の議会で研修を行った。

研修一日目の東彼杵町の概要については長崎県のほぼ中央で西に大村湾、北東は佐賀県嬉野市に接し総面積74km²、人口約9、600名、産業面では、就業人口割合は第一次産業21・7%、二次産業22・8%、三次産業55・5%となっており農業が基幹産業である。中でも長崎県の70%を占める「そのぎ茶」はふくよかな味と香りで最高のお茶と言う事である。又、近年「ひがしそのぎグリーンテクノパーク」への企業立地が進み、基幹となる新たな産業を創出し

てきているとの事である。歴史と文化面では特産品であるそのぎ茶にまつわる「そのぎ茶市」、大正初期に始まったとされ現在でも趣は変わったものの多くの露天商が立ち並び町民の楽しみの行事であり初夏の風物詩として今も続いている。議会の概要は、議員数本年改選前は16名であったが、議員定数削減により12名となり議会の活性がなくなつた部分があるとの事である。委員会は「総務文教厚生常任委員6名、産業建設常任委員5名で構成され任期は2年である。議会運営委員会は各委員長と委員会より2名、その中の1名は副議長とし6名で構成されている。議会広報は特別委員会とし7名、予算決算の審査については、予算審査は特別会計は各常任委員会で予算について現場を見て審査を行う。一般会計は全議員

で行う。決算審査は特別委員会を作り全議員で行う。決算は11月臨時議会を開催している。一般質問は一問一答方式で、質問時間は執行部答弁を含めて60分以内3項目まで。わが町は一括質問方式であるが、一問一答方式は質問者が執行部の答弁を納得できるまで聞ける点があるようだ。わが町と違う点で町長の所信表明、施政方針を議会初日文書で配布し、その内容について最終日に町長に質問を行つている。この事はわが町も参考になればと思う。

二日目、有田町について町の概要は18年3月二町合併、佐賀県の西部に位置する自然に恵まれた温暖な気候の地域で総面積65km²、人口約22、000人、世帯数7、561世帯地場産業は有田焼の産地であり窯元が多く、主要産業であるが近年需要の低下の為に観光と連携し産地の活性化に取り組んでいる。農業は水稻が主、畜産「肉用牛」やブロイラーも全国で高い評価を受けている。

議会の概要について。議員

数は合併前旧二町でそれぞれ16名、計32名であったが合併協議会で初回の議員数は22名、次の選挙は18名と取り決めがなされていたが更なる議員定数削減の話があり、全員協議会等で議論を重ね、議員提案として6月議会に提出、賛成多数で16名の定数に決定した。わが町も議員定数については今全員協議会で検討中である。委員会も「総務」8名、「産業建設」7名、「文教厚生」

7名の三つの常任委員会であり議会運営委員会は6名、議会広報発行は特別委員会である一般質問は彼杵町と同じ一問一答方式で、質問時間も答弁を含め60分以内、なお現在有田共立病院の改築に当たり議員全員で、有田共立病院改築検討特別委員会「18年9月設置」病院完成までおくと言う事である。研修した事を議会運営委員会として議会の活動向上に努めたい。

総務文教委員会所管事務調査

研修報告

委員長 森 恵子

7月24日長崎県南島原市と7月25日佐賀県みやき町で、「まちづくりの運営状況」と「ふるさと納税制度の取り組み」について研修を行った。出席者は総務文教常任委員5名と職員7名。

一日目、南島原市は平成18年3月31日に8町合併で誕生。面積は170km²、人口は54、045人（1、7419世帯）、

高齢化率29・6%。財政は平成18年度末決算で、歳入総額270億円、歳出総額264億円。

(一) 改革プラン（平成18年～22年）

① 民間委託の推進―市立保育所5、幼稚園2、養護老人ホーム2の民営化等

② 定員管理の適正化―10年間で160人の職員削減等